

小松島市における道路管理の現状と課題

～道路ストックの点検と老朽化対策～

徳島県 小松島市 産業建設部 都市整備課

1. はじめに

小松島市は、徳島県の東部海岸部に位置し、市の中心部は北部の勝浦川、南部的那賀川と両河川の堆積による肥沃な平野が広がり、北西部にかけては県都徳島市と隣接しています。

東部は紀伊水道に接し、古くより、静穏で深い水域をもった天然の良港を有し、四国と京阪神を結ぶ海上交通の要衝として発展してきましたが、近年は、小松島港赤石地区大型公共ふ頭の機能充実をはじめ、物流交通の拠点都市としてのまちづくりに取り組んでいます。



市内風景

本市は、昭和 26 年市政を施行。その後、昭和 31 年に坂野町を編入し現在の小松島市になりました。面積は、45.37km²、人口 38,156 人（H30.4.1）です。



小松島港まつり花火大会



小松島港まつり阿波踊り



豪華客船寄港



小松島ステーションパーク

2. 小松島市の道路

(1) 本市が管理する道路は、路線 669 本、実延長 274 km (H30.4.1) となっています。

車道幅員	実延長			
	改良済	未改良	計	割合
19.5m 以上	61		61	0%
13.0m 以上	226		226	0%
9.0m 以上	4,490		4,490	2%
7.5m 以上	4,077		4,077	1%
5.5m 以上	15,170	2,920	18,090	7%
4.5m 以上	26,470	2,596	29,066	11%
3.5m 以上	43,125	8,002	51,127	19%
3.5m 未満	60,447	106,023	166,470	61%
計	154,066	119,541	273,607	

(2) 本市が管理する道路橋は、299 橋 (H30.4.1) あります。

	橋梁数	延長 (m)	面積 (㎡)
重要橋梁	18	536	3,488
一般橋梁	280	1,190	6,911
潜水橋	1	214	817
計	299	1,940	11,216

3. 道路ストックの点検

(1) 橋梁点検（長寿命化修繕計画）

本市が管理する道路橋 299 橋のうち、平成 24 年に主要橋梁 36 橋について、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、これまでに 2 橋の修繕工事が完了しています。

また、橋梁点検においては平成 26 年から平成 30 年にかけて全橋梁（299 橋）を点検する予定としています。



橋梁点検状況（長寿命化修繕計画）

(2) 路面性状調査

調査対象路線を、1 級市道（約 18 km）、2 級市道（約 32 km）の合わせて約 50 km と設定し、平成 26 年に実施しました。

点検方法としては、道路巡回にてポットホールなどを点検することに加え、既往資料の調査を通じて舗装計画交通量等の基本的データを把握した上で、おおむね 100m 毎の評価単位区間毎にひび割れ、わだち掘れ、縦断凹凸を評価し、併せて路面状況について写真により記録を行いました。

調査の結果、ひび割れ率 20% 以上は 2%、10～20% が 30%、10% 未満が 68% となりました。わだち掘れに関しては、20mm 以上は 2%、10～20mm が 58%、10mm 未満が 40% となりました。



損傷箇所



ひび割れ評価（20mm 毎）



ポットホール

今後の予定としては、損傷範囲が広範囲に見受けられた路線・区間から修繕工事を実施するとともに、計画的に路面性状調査を継続していきたいと考えています。

(3) 道路付属物点検

道路付属物として調査する施設は道路標識、道路照明灯等となっていますが、本市の場合、道路照明灯のみであるため、約 300 基ある道路照明灯を調査対象としています。

本市では、定期的な道路パトロールによって調査を実施し、緊急で修繕を要するものについては、直ちに対処しております。今後も道路パトロールによる目視点検を実施し、的確な維持管理を実施していきたいと考えています。



道路付属物点検状況（道路照明灯）

4. 老朽化が進む橋梁および道路の維持管理について

橋梁については「小松島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画の対象となっている重要度の高い主要橋梁 36 橋について、対処療法型から予防保全型への転換を図り、適正な維持管理を行います。また、道路パトロールによる定期点検や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、道路や橋梁の損傷および走行面の変状などを早期に発見するとともに、健全度の把握に努めます。

5. おわりに

本市では、今後も人口減少が続き、少子高齢化も急激に進行する見通しとなっています。また、高度成長期以降に建設されたインフラ施設の老朽化が著しく、今後これらの施設の更新を行っていくためには多額の費用が必要となってきます。

次の世代に良好な施設を引き継いでいくためには、適切な維持管理により施設を安全・安心・快適に利用できるよう保ちながら、長期的な使用に耐えうる施設にする必要があります。将来的により厳しさを増すと予想される財政状況にかんがみ、予防保全型維持管理や長寿命化によるライフサイクルコストの縮減や維持管理費の平準化を図り、より効果的かつ効率的な維持管理を行うよう努力したいと考えております。



小松島市キャラクター こまポン